

三部会合同研修を実施しました

11月29日（水）に三部会（総務部会・地域福祉推進部会・児童委員活動推進部会）合同研修として、民生委員・児童委員、主任児童委員 36 名が「京都市子ども保健医療相談・事故防止センター“京（みやこ）あんしんこども館”」を訪問しました。

この施設では、専門医による保健医療相談、乳幼児の健康教室、子どもの事故防止研修などを実施しており、今回は小児科医による事故の症例と防止策についての講義を受けました。

こどもの月齢と共に変化する行動範囲でおこる事故を防止するためにできることは何か。事故が起こってしまった時はどんな対応をすればいいのか。

小児科医として立ち会われた症例など貴重なお話を聞かせていただき、子育て中の「ヒヤリ」や孫育て中の「ドキッ」など経験したことを思い出されたのか、共感の声が漏れる場面もありました。

講義のあとは家庭内の危険な場所での事故を防ぐ具体的な方法を展示したセーフティハウスを見学しました。

窒息、溺水、転落・転倒など不慮の事故は気を付けていても起こってしまいますが、事前に防げることには対策を、また、不幸にも事故が起こってしまった際に対処する方法を頭の片隅に留めておくなどして、最悪の事態に至らないようにしておくべきだと改めて気が引き締められました。

参加された委員の皆様には研修で学んだことを地区で伝達していただき、活動に活かしていただきたいと思います。



知育玩具の電池には注意 



子どもの視野ってこんななん!? 



しっかり研修、和やか交流で有意義な一日でした

